

立正大学文学部文学科英語英米文学専攻コース NEWSLETTER VOL. 03

Faculty of Letters | Risho English | July 27, 2024

2024年度「夏休みオープンキャンパス」のお知らせ

今年8月の来校型オープンキャンパス（品川キャンパス）は以下の日程で開催します。英文コースの模擬授業にぜひご参加ください。

- 8月17日(土) 立正大学英文コースと英文学教育（大野龍浩）
- 8月18日(日) AI時代の英語力——本学の入試問題も例に（今井亮一）

オープンキャンパス事前予約はこちらから →



課外活動紹介「シェイクスピア演劇鑑賞会」

英語英米文学専攻コースでは、教室ではできない経験を学生にしてもらうために、さまざまな課外活動に取り組んでいます。その一環として、2015年度から継続的に、学生と教員の希望者でシェイクスピア演劇を鑑賞するイベントを実施しています。

2015年度から2019年度にはInternational Theatre Company Londonの日本公演を観劇しました。英語で上演されるシェイクスピア演劇を日本で観られる機会は少ないので、興味をもった多くの学生が参加しました。『ロミオとジュリエット』や『ヴェニスの商人』など、シェイクスピアの代表作に劇場で触れることで刺激を受け、このイベントをきっかけに卒業論文のテーマにシェイクスピア演劇を選んだ学生もいました。



文学座『オセロー』のポスター

コロナ禍での中断期間を経て、今年は日本を代表する劇団である文学座によるシェイクスピアの悲劇『オセロー』の上演を観劇しました。『オセロー』は、シェイクスピアの四大悲劇のひとつにも数えられる代表作で、愛と憎しみ、嫉妬など、人間のさまざまな感情が悲劇を招きます。また、主人公オセローが黒人という設定のため、人種差別問題など現代の社会問題ともさまざまなかたちでリンクする作品です。演出も演技も素晴らしく、学生も教員もとても楽しく観劇しました。

このイベントは、シェイクスピア研究を専門とする教員が引率をするため、観劇後すぐに解説を聞くことができ、また学生同士でも感想を話し合ったりできます。こういった意見交換も重要な学びの場になっています。これからもぜひたくさんの学生に参加してもらいたいです。（イギリス文学 伊澤高志）

学生によるゼミ紹介「アメリカの黒人文化を学ぶ」デンドウゼミ

デンドウ・ゲーリー先生のゼミでは、アメリカ合衆国の奴隷制の歴史や黒人音楽について学んでいます。まず、アメリカの奴隷制が成立していく過程を確認し、さらに奴隷制から生み出された黒人音楽の社会的背景や文化的状況を調べます。

奴隷制時代の黒人音楽は多様な音楽ジャンルを発展させていきました。私たちはその音楽ジャンルすべてに共通する特徴をつかみながら、奴隷制と黒人音楽の関係性を探っています。また、ゼミでは英文で書かれた文献を読解し、その英文を繰り返し音読しますが、それだけでなく、奴隷制や黒人音楽にかんするスライド資料や映像も視聴するので、英文の読解力や発音の力を伸ばしながら、内容をより深く理解することができます。

デンドウゼミの活動は、コミュニケーションを取ることを重視しています。個人で行う作業は少なく、文章を読む練習や意見の交換などのすべてがペアワークやグループワークで行います。学年に関係なく演習活動をするため、他学年との交流の機会も多く、そのおかげで、3年生は4年生に卒業論文や就職活動などについて質問がしやすいのです。このゼミでは、ゼミ生どうしが協力し、楽しんで学ぶことの大切さを学ぶことができます。（4年 A. F.）



奴隷制時代の黒人音楽とダンス

夏休み特別講義「学習英文法再考」

8月20日(火)10時より 於：立正大学品川キャンパス

英語英米文学専攻コースでは、6月の金曜夜に品川キャンパスで「学習英文法再考」の勉強会を4回にわたって開催いたしました。おかげさまで、中学・高等学校の先生方をはじめ、多彩なご職業の方々、他大学を含めた現役学生の方々がご参加くださり、楽しいディスカッションができましたことをたいへんうれしく思っております。

ニュースレター（vol.2）でも触れました通り、高等学校の「英語表現I・II」が「論理・表現Ⅲ」に変わったことにより、教科書が発話の場面中心の構成に変貌している実態があります。一方で、国公立大学の二次試験、および、私立大学の入試に対応するため、教室では、以前と同様に文法知識の強化が求められているというお話を伺いました。教育現場のこのような実情を鑑みると、入試対策のためだけでなく、学習者が「大人の英語」を駆使できるようになるために、今、指導者にはどのような知識が必要かを一緒に考えてみることは意味があると感じます。暑さ厳しいなかではありますが、みなさまのご参加をお待ちしています。（英語学・言語学 井川 壽子）

2024年度「立正英文学会大会」特別企画

9月28日(土)、2024年度立正英文学会大会を開催します。特別企画として柴田元幸先生（東京大学名誉教授）と今井亮一先生（本学英文コース教員）の師弟対談を一般公開する予定です。

ニュースレター、英文コースにかんする問い合わせはこちらまで
✉ elit@ris.ac.jp（英語英米文学専攻コース教務助手）